

平成 30 年 5 月 15 日

平成 30 年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎

専門学校日本スクールオブビジネス 21

学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「平成 29 年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

1. 平成 30 年度学校関係者評価委員会

< 委 員 > (五十音順)

青山 文彦氏 立志舎高等学校 教頭
浅野 拓哉氏 株式会社ニチイ学館 お茶の水支店 病院課 フロントマネージャー
富永 高広氏 株式会社日本旅行 東京教育旅行支店 副支店長
平澤 精一氏 有限会社井荻スポーツ社 代表取締役
富里茉莉奈氏 株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド 店長
藤代 真弘氏 東海旅客鉄道株式会社 新幹線鉄道事業本部 東京第二運輸所 指導車掌
松戸 圭子氏 一般社団法人日本植物ケアデザイナー協会 代表
松本 聡仁氏 株式会社東武ホテルマネジメント
丸茂 茜 氏 ヒロセ電機株式会社 製作本部長室

< 事務局 >

金子 徹 校長
堀 忠夫 教務部課長
吉野 充利 教務部課長
高木 徹 教務部課長
井原 晋 教務部課長
村田 直 教務部課長
入江 博雅 教務部主査

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
基準 1 教育理念・目標	イ. 教育理念、目的、育成人材像について定められているか 学校の目的を「学校教育法に定める専修学校制度の趣旨に則り、ビジネスおよび情報処理に関する正しい知識と的確な技能を授け、もって職業や實際生活に必要な能力を養成し教養を向上させることを目的とする。」としている。さら

	<p>に専門分野の特性が明確になるように学科ごとに目標も定め、ホームページで広く公表している。また、学園の基本目標を『学生から信頼され支持される学校づくり』として、教職員一丸となって取り組んでいる。</p> <p>ロ．学校における職業教育の特色は何か</p> <p>教育の特色は、本学独自の教育システムの「ゼミ学習」である。この学習システムにより合格実績、就職実績、人格陶冶を達成している。</p> <p>ハ．教育理念、目的、育成人材、特色が学生や保護者などに周知されているか</p> <p>入学希望者にはオープンキャンパス等でわかりやすく説明しており学生、保護者等に周知しているが完全とは言えないため今後も継続して学生・保護者等に周知していく。</p> <p>ニ．各学科の教育目標、育成人材像は業界ニーズに向けられているか</p> <p>育成人材像が業界のニーズに向けて方向づけられるように、毎年開催する学内就職セミナー（H29年度 1525社の企業が参加）や教育課程編成委員会を通して業界のニーズを把握し、ゼミ学習を通じて日々学生を指導している。</p> <p>基準1についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 学生時代に自分がわからないところはゼミ学習のお蔭で周りの友達にすぐ聞いたので大変よかったです。逆に、友人が困っていた時には私も教えてあげる機会あり、自分自身の理解も深まるのが実感できました。</p> <p>(2) 貴校の卒業生を採用させて頂きましたが弊社でとても活躍してくれています。卒業生の特徴は何より気持ちのよい挨拶ができています。学生の目標意識がしっかりしているからだと思います。</p> <p>(3) 入社した卒業生は基本的なことだが挨拶もしっかりできている。このようなことからビジネスマナーもしっかり身につけていると思われるので、ゼミ学習の効果がでているのだと思います。</p>
<p>基準2 学校運営</p>	<p>イ．目的に沿った運営方針が策定されているか</p> <p>各学科の目的等を達成するために「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本目標とし全教職員に周知徹底している。各部署には目標達成のために数値目標が明確にされており、その目標達成のために授業を組織的に運営している。</p> <p>ロ．運営組織や意思決定機能は規則などにおいて明確化され機能しているか</p> <p>運営組織や意思決定機能は規則等において明確にしており、理事会、学園協議会といった意思決定システムが整備され、その役割と権限を明確にしている。</p> <p>ハ．人事制度や組織整備がなされているか</p> <p>人事や賃金の処遇に関する制度として、採用制度、昇進・昇給制度、賃金制</p>

	<p>度、人事考課制度を整備している。</p> <p>二．教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか</p> <p>日常的な意思決定は管理職が行っている。学校間の調整は企画本部や学園協議会で決定している。また、責任者会議、課会議、公務員企画会議といった意思決定システムが整備され、その役割と権限を明確にしている。</p> <p>ホ．教育活動に関する情報公開が適切になされているか</p> <p>資格取得実績や就職実績をホームページで公開し、速報を作成してオープンキャンパス等で入学希望者に配布している。さらに本人了承のもと氏名や出身高校を記載した合格速報なども配布しており、入学者へのアンケートを見ると、志望者や保護者が判断する際にも役立っている。</p> <p>ヘ．情報システム化などによる業務の効率化が図られているか</p> <p>情報システムについては、学務システムと経理システムを個々に運用しており、就職部は求人情報をデータベース化して業務の効率化を図っている。学務システムは仮想プライベートネットワークを全拠点で結び、セキュリティを強化して運用している。</p> <p>基準 2 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) ホームページでは実績等の情報公開がしっかりとされており、また教職員もそれに基づいた指導をされているので安心できます。</p> <p>(2) 基本目標の公開は学生には必要な情報です。また、パンフレットや配布資料に出身高校などが記載されていることにより、高校生や保護者の方も判断がしやすいと思います。</p>
<p>基準 3 教育活動</p>	<p>イ．教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</p> <p>カリキュラムは、教育課程編成委員会での外部委員の意見を踏まえてカリキュラム作成委員会で定期的な見直しを行っている。授業はゼミ学習で行っており、知識をより確実にするばかりでなく、積極性、表現力、コミュニケーション能力などの人間性も滋養している。</p> <p>ロ．教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</p> <p>学内就職セミナーで企業から回収したアンケートを基に「社会が求める人材像」を学生に明示。そのうえで多岐にわたる業界や職種の人柄、ニーズに対応できる教育を実践している。また、難関資格を目指す学生のために研究学科を設置しレベルアップできるようにしている。</p> <p>ハ．学科などのカリキュラムは体系的に編成されているか</p> <p>学科等のカリキュラムは教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考に、</p>

カリキュラム作成委員会において社会のニーズに対応するように編成している。また、カリキュラム会議において各学科で目標とする資格取得のために定期的に見直しを行っている。

ニ．キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか

カリキュラムは、専門知識や技術以外にもビジネスマナー、コミュニケーション能力などを育成するキャリア教育を実践するための授業科目を設置している。なお、今後も社会の人材ニーズや指導方法などの検証は継続していく必要がある。

ホ．関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか

スポーツ、トラベル、医療、ビジネスともに毎年定期的に校外実習やインターンシップなどを取り入れ学生の技術能力の向上のために計画的に行っている。

ヘ．授業評価の実施・評価体制はあるか

授業運営の適否を判断、見直しをするために学生による授業評価アンケートを実施している。また年2回、他校教員による各校見学会を実施し、相互に評価している。

ト．成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

学則・学生便覧に単位認定試験を行い、成績付与を行うことを明示しており、成績評価・単位認定の基準を明確にしている。

チ．資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか

各学科で目標とする資格・試験を明確に定め、その合格がより確実になるようなカリキュラム編成をしている。そして、試験終了後カリキュラム会議を開き、次回に反映させるようにしている。各学科で各科目のシラバスを作成し、カリキュラム編成においても目標達成のため科目の適正な配置を行っている。

リ．人材育成目標に向け、授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか

育成目標に向け授業を行うことができる教員として、専門性、人間性、教授力、必要資格等の諸要件を備えた人材の確保はできている。

ヌ．教員の能力開発のための研修などが行われているか

教員の専門性や教授力等を常にレベルアップするため、年間を通じての自己啓発研修や企業等との連携により最新の動向を取り入れる研修を行っている。

<各学科で実施している教員研修の紹介>

基準3についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。

	<p>(1) 企業の人事担当者を招いての学内就職セミナーで多くの企業から業界のニーズを確認していることは評価できます。</p> <p>(2) ゼミ学習はゼミのメンバー構成によるところが多いと思いますが、2週間に1回程度、また学生の得意・不得意な科目を考慮して変更している点は素晴らしいです。</p> <p>(3) 成績評価は今年度の1年生から「秀」「優」「良」「可」の4段階評価に変更されたそうですが、このことで成績評価がより明確になり良いことです。</p> <p>(4) 職員の方々はスーツの着用などビジネス上の礼儀を大切にしていると感じます。学生や外部の方と接する時にラフな格好ではなく身だしなみを整えていることは素晴らしい事です。しかも学生に対して堅苦しいという印象もなく信頼関係の良さがうかがえ、この点は評価できます。</p>
<p>基準4 学修成果</p>	<p>イ．就職率の向上が図られているか</p> <p>ロ．資格取得率の向上が図られているか</p> <p>前年の実績と今後の動向を踏まえ翌年の教育方法と科目編成を行っている。就職率及び資格取得率についてはともに向上が図られている。</p> <p><各学科より就職実績及び資格取得実績の報告></p> <p>ハ．退学率の逓減が図られているか</p> <p>退学率の低減については、一人も退学者を出すことなく入学者全員を卒業させることが最終目標であるため、担任をはじめ各学科の教員が学生全員に目を配り、声をかけて退学率の低減を図っており、欠席した学生には担任が電話することで長期の欠席にならないようにしている。また、学生相談室を設置しており、担任以外にも相談できるようにしている。</p> <p>この基準4についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) スポーツ学科の実績は大変に素晴らしいと思います。目標に向かってしっかりと頑張っているという印象を持ちました。</p> <p>(2) 医療福祉ビジネス学科の実績は大変素晴らしいと思います。医療の分野で必要とされている資格試験を効率よく要点を抑えた指導をされていると思います。この他にも調剤や介護で必要と思われる資格も取っており総合的に学ぶことができていると感じました。</p> <p>(3) 鉄道・トラベル学科については私も在学中に多くの資格を取れたので、今後も継続して実績を伸ばしてください。</p> <p>(4) ホテル・ブライダル学科については学生同士、学校と学生、先生同士がしっかり連携をとってうまく回っているからこそこの実績が出ていると思います。今後も継続してください。</p>

	<p>(5) ショップマネジメント学科はととても素晴らしいです。数字によく表れていると思います。学生のニーズに合った指導が資格取得の結果につながっていると思います。</p> <p>(6) ビジネス学科については私も在学中に多くの資格を取ることができ、就職後にも役に立つものが身に付けられました。</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p>イ．進路・就職に関する支援体制は整備されているか 就職希望者には、就職相談室を設け、就職担当者およびクラス担任が学生の就職相談、指導を行っている。また、企業の人事担当者を招き学内就職セミナーを実施している。</p> <p>ロ．学生相談に関する体制は整備されているか 学生の相談はまずクラス担任にするが、その他にも学生相談室を設置し相談できる体制をとっている。</p> <p>ハ．学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか 支援体制として特別奨学生試験、各種特待生制度、経済的理由による修学支援奨学生制度を設けており、奨学金はすべて貸与ではなく給付としている。</p> <p>ニ．学生の健康を担う管理体制はあるか 学校保健安全法に基づく健康診断を全学生に実施している。また、指定病院が学生の健康相談などに応じている。</p> <p>ホ．課外活動に対する支援体制は整備されているか 課外活動として野球部、サッカー部、バスケットボール部、バレーボール部などのクラブ活動や、体育祭、学園祭、球技大会などを学生主体で実施し、教職員が助言、指導をしている。</p> <p>ヘ．学生の生活環境への支援は行われているか 遠隔地出身者のために提携している学生寮を紹介し、安心して学生生活を送れるよう支援をしている。</p> <p>ト．保護者と適切に連携しているか 保護者には、学生に対して適切な指導、相談を行うために出席状況、成績表、相談室のお知らせ等を年に4回送付している。また、必要に応じて保護者と面談も実施している。</p> <p>チ．高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか 高校等との連携は各種セミナーを通じ、資格取得、就職内定を目指す生徒を応援しているが、今後もさらに連携していく必要があると思う。</p> <p>この基準5についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の意見があった。</p>

	<p>(1) 在学中、学内の就職セミナーや就職活動中の面接練習など良かったと思います。また、学生時代にサッカー部に所属していたこともあり、充実した学生生活を送ることができました。</p> <p>(2) 学生時代はクラブ活動とかのキャンパス行事に対しちょっと抵抗がある学生もいると思いますが、先生の指導によって良い思い出を作って卒業することができているのではないのでしょうか。今後も積極的に続けてほしいと思います。</p>
<p>基準6 教育環境</p>	<p>イ．施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか 設置基準に基づき教室、演習室、教員室、事務室などを設置しており、維持管理については定期的な点検整備を行っているため、施設・設備は学生に教育上支障がないように整備されている。</p> <p>ロ．学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか 実習施設についてはトレーニングルームをはじめとした各学科独自の実習室や墨田区総合体育館等の施設を確保している。海外研修についてはグアムスポーツ研修、海外添乗実習などを実施している。</p> <p>ハ．防災に対する体制は整備されているか 防災に対する体制は、防災指導担当者を定め防災訓練を実施し、教職員、学生に防災に対する意識の喚起を行っている。しかし、大規模災害等何が起こるかわからない状況を考え、今後も改善をしていく。</p> <p>この基準6についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 鉄道トラベルのケアンズの海外研修では先生方が参加学生にそれぞれ役割を与えて臨んでいて、学生もその役割をしっかりと果たしている様子を見ると先生方の指導力は素晴らしいものがあると思います。</p> <p>(2) スポーツの海外スポーツ研修では決して物見遊山の旅行にならず、しっかりした目的を持って研修しており、日本と海外施設の違いなども理解できるように指導されているので素晴らしいと思います。</p> <p>(3) 東日本大震災から多くの方が災害に対する意識が変わったと思いますが、防災等の知識や資格は取れたからといっても「いざ」という時になかなか活用できない人が多いです。是非、教員だけでなく学生に対してもとっさの時に行動できるように応急処置などの知識について年間を通して色々と防災意識を高められるようなことをやってください。</p>
<p>基準7 学生の受け入れ募集</p>	<p>イ．学生募集活動は適正に行われているか</p> <p>ロ．学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか 募集活動において、教育成果を正確に伝えるために本学では公認会計士試験、</p>

	<p>税理士試験、情報処理技術者試験などの高度な試験の合格速報や民間就職実績については、信ぴょう性を確保するために本人の了承を得て合格者情報に氏名・出身校名を載せており、志望者や保護者の方の判断にも役立つと思っております。入学者に対するアンケートでは卒業生の活躍する教育成果が進路を決定する上で大いに参考になったとの数多くの回答を得ている。</p> <p>ハ．学納金は妥当なものとなっているか</p> <p>また、学納金は学校の財政基盤の問題がでないように適正かつ妥当な金額に設定されている。</p> <p>この基準7についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 入学者や高校生、保護者の方から見たら大変参考になる資料を作成していると思います。</p> <p>(2) 就職実績や出身高校等が全て明記されていることは、非常に信頼性が高いことです。学校選びをする際に大変参考となる資料だと思えます。</p>
<p>基準8 財務</p>	<p>イ．中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</p> <p>ロ．予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</p> <p>ハ．財務について会計監査が適正に行われているか</p> <p>ニ．財務情報公開の体制整備はできているか</p> <p>財務全般についてですが、少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要がある。予算の編成及び執行に関する規程は、寄附行為、経理規程に定められている。予算の編成は適切な手続きを経た上で確定し、予算を執行している。会計監査については、監事2名が事業説明を受けて、財産目録、貸借対照表、収支計算書によって会計監査を実施している。その結果を監査報告書に記載し、理事会及び評議員会へ報告している。私立学校法第47条に基づき、財務情報として財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書、監事監査報告書を作成し、公開している。さらに、ホームページ上では事業の概要、財産目録、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表を公開している。以上の点から財務については適切に運用及び管理されている。</p> <p>この基準8についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、財務状況をホームページにはっきりした情報で公開しており、高く評価できますとの意見があった。</p>
<p>基準9 法令等の遵守</p>	<p>イ．法令、専修学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか</p> <p>各種法令遵守に関する研修への参加や資料配布、および毎年の人権研修を実施している。法令遵守規定があり、法令遵守推進管理者において法令遵守の推</p>

	<p>進を図っている。</p> <p>ロ．個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか</p> <p>個人情報保護の取り扱いは個人情報保護規定、プライバシーポリシーを設定しており、学園の保有する個人情報を委託業者に取り扱わせる場合には、個人情報保護に関する文書の提出を義務付けている。また、各種学業成果を公表する場合には、教職員より学生に趣旨を説明し本人の承諾を得ている。</p> <p>ハ．自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</p> <p>ニ．自己評価結果を公開しているか</p> <p>自己点検・自己評価委員会を設置し、自己点検・自己評価を行っており、その結果についてはホームページに公開している。今後も自己評価を実施して問題点を分析し、より良い改善をしていく。</p> <p>この基準9についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 実績の公表の際に学生の承諾を得た上での氏名や出身高校等を掲載するという事で常に注意しながら個人情報を扱っているという事は大変に評価できます。その点で個人情報の管理はしっかりとしていると思います。</p> <p>(2) 個人情報の管理は年々進化していく部分もあり、残念ながら個人情報の管理については関心のない新入社員はどの職場にもいると思いますので、学生に対しても個人情報の取り扱いについて高い意識を持てるように指導をしていただけると助かります。</p>
<p>基準 10 社会貢献・地域貢献</p>	<p>イ．学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</p> <p>ロ．学生ボランティア活動を奨励、支援しているか</p> <p>ハ．地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか</p> <p>社会貢献・地域貢献全般については学生のボランティア活動を奨励し、支援している。学生は近隣の道路清掃をしており、その清掃活動は近隣からもとても好評である。また、地域のお祭りへの参加等、その地域の状況に応じて社会貢献・地域貢献ができています。しかし、地域の方々に対する学校独自の公開講座等はないためその点はやや不適切である。</p> <p>この基準 10 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 高校には各区から多数のイベント依頼があり受け入れきれない状況です。是非、貴校でもこれらのイベントへの積極的参加をお願いします。</p> <p>(2) 地元のお祭りなどに積極的に参加することは地域貢献になると思います。</p>

〔総括的な意見〕

評価項目の評価についてはすべて妥当です。海外研修やインターンシップでは日頃の指導成果により学生はしっかり役割を果たしています。学習成果ではどの学科も学生の期待に応える実績を達成していることは高く評価できます。先生方の親身な指導が資格取得や就職につながっていると思います。また情報公開は個人情報を考慮し適切に行われており入学希望者の判断材料になる情報が提供されていると思います。今後も学生のニーズに応える学校運営と社会に役立つ人材育成に励んでほしい。今回の学校関係者評価は昨年以上に各学科の特徴や実績を中心とした報告があり今まで以上に貴校の実績の高さを知ることができました。